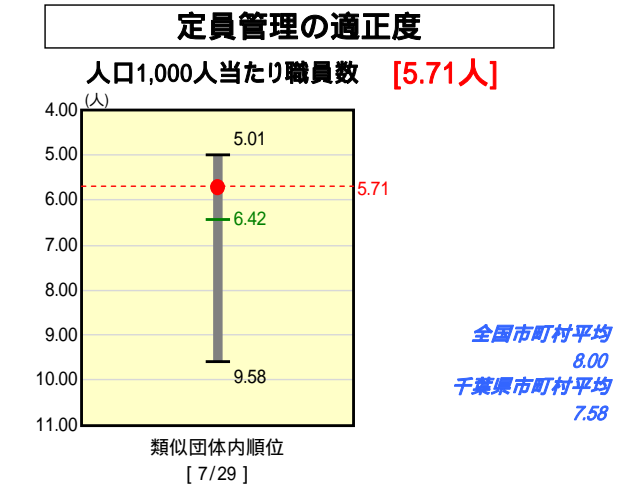
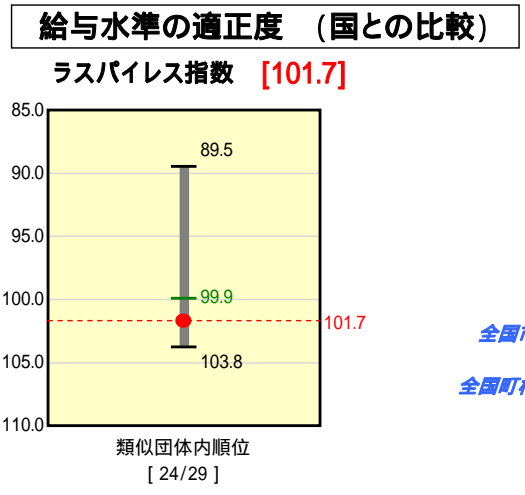
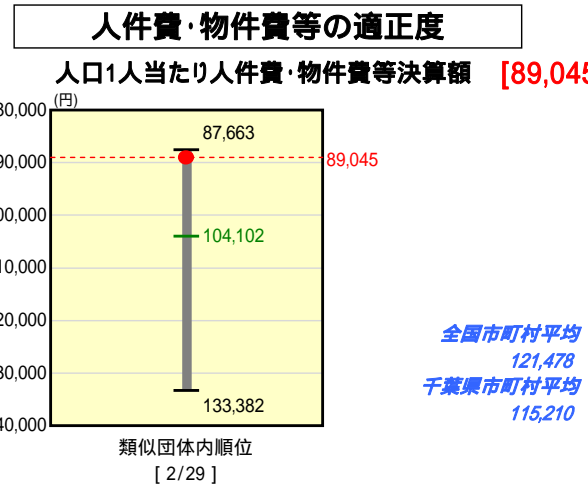
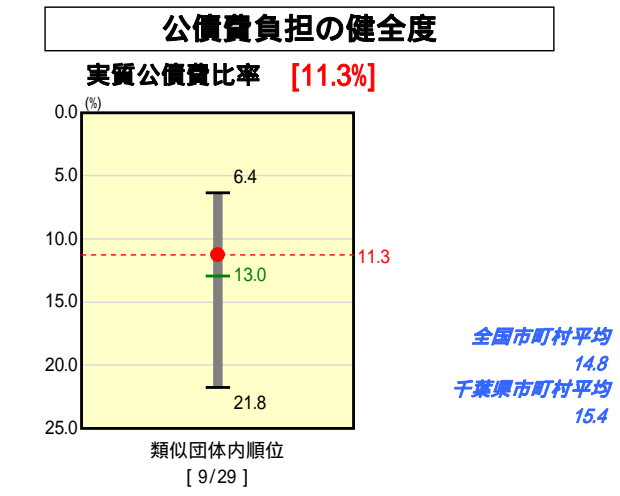
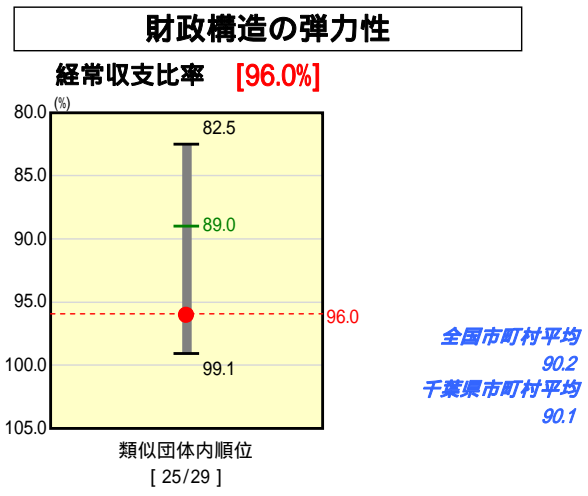
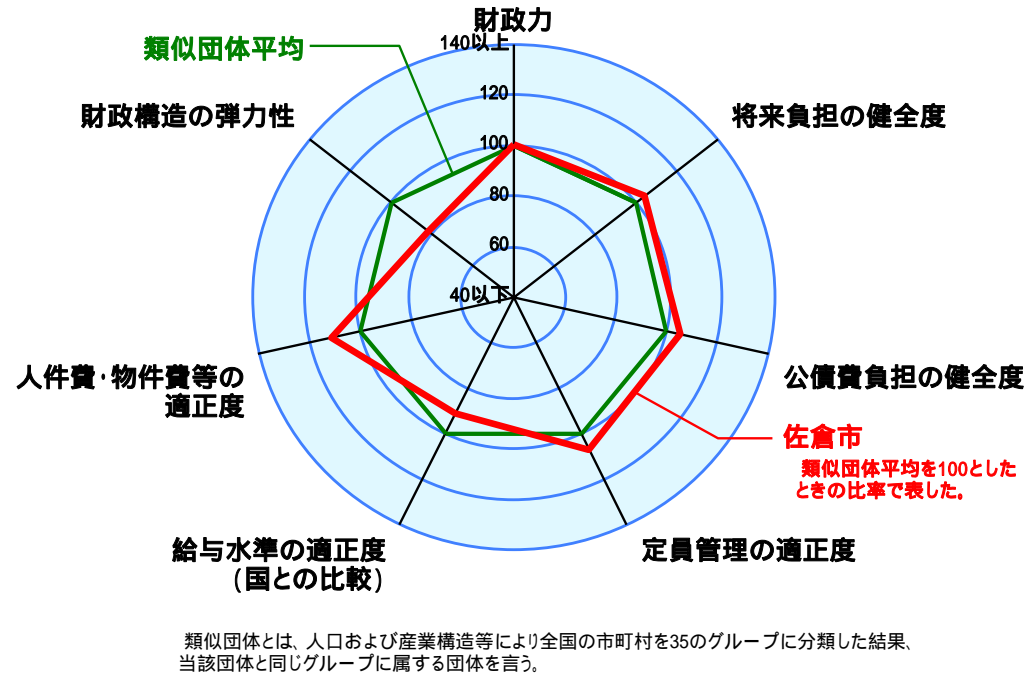
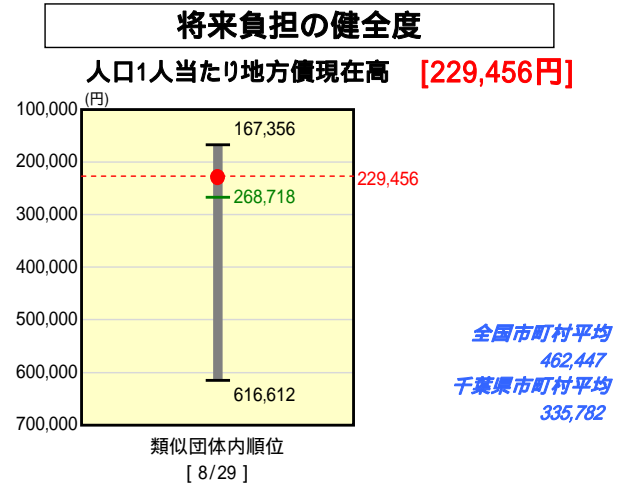
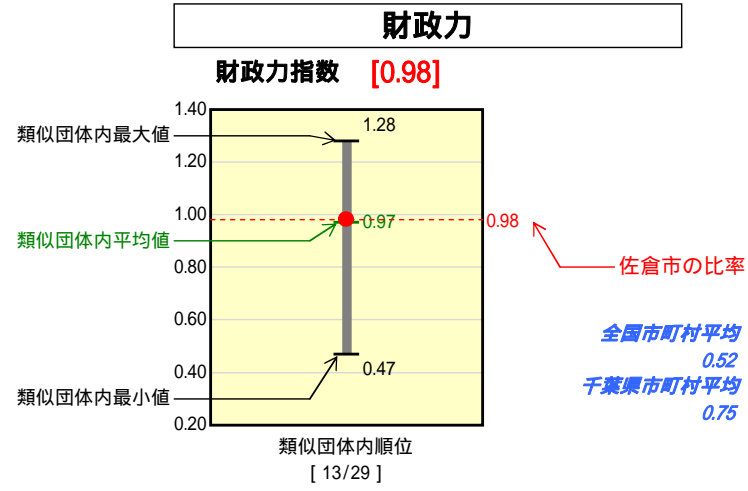


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

千葉県 佐倉市

人口	174,984人	(H18.3.31現在)
面積	103.59	km ²
歳入総額	38,389,709	千円
歳出総額	36,569,071	千円
実質収支	1,743,263	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:
財政力指数は0.98と類似団体平均をわずかに上回っている。なお、平成18年度から単年度ベースで1.00を超え普通交付税の不交付団体となっており、平成19年度以降も不交付団体となる見込みである。

経常収支比率:
歳入削減により、前年度から0.5ポイント減少し、財政の硬直化に歯止めがかかった。しかし、類似団体平均と比較して7.0ポイント上回っており、今後も行財政改革を進め、経常的経費の歳入削減に努める必要がある。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
類似団体平均を15,057円下回っている。これは、経常的経費の削減、定員適正化計画による人件費削減に加え、一部事務組合を多く抱えるために、他の団体では人件費・物件費となるものが負担金として支出されていることも影響している。

ラスパイルズ指数:
類似団体平均を1.8(前年2.4)上回っている。今後も引き続き、人事院及び千葉県人事委員会の勧告を尊重し、給与水準や給与制度について適正化に努める。また、手当等の適正化についても努力を続ける。

人口1人当たり地方債現在高:
普通建設事業の抑制により、地方債残高は平成11年度末をピークに減少に転じており、類似団体平均を下回っている。今後は、平成5年～平成11年頃にかけて建設した公共施設に係る市債の償還が徐々に終了する見込み。地方債残高をさらに減少させるため、新たな地方債の発行を元金償還金の範囲内に納める方針としている。

実質公債費比率:
類似団体平均を1.7ポイント下回っている。各年度ごとの公債費の額は、地方債残高の減少とともに通減すると見込まれる。一部事務組合等についても地方債発行の抑制について協力を求めていく。

人口1,000人当たり職員数:
適正な人事管理により、類似団体平均を0.71人下回っている。市民ニーズの高度化や多様化に伴う行政需要の増加や、さらに地方分権の推進に伴う行政需要の増加に対し、弾力的かつ的確に対応するために、民間委託の推進を含めた事務事業の見直し、OA化の推進、組織の活性化、再任用職員や臨時職員等の活用等を積極的に進め、より一層適正な定員管理を推進する方針(定員適正化計画)。